

竹中平蔵慶應義塾大学名誉教授の南アフリカ訪問

平成29年10月6日
在南アフリカ共和国日本国大使館

1. プレトリア大学における講演（10月4日）

竹中名誉教授（元国務大臣）に、プレトリア大学において「日本経済の展望と世界経済」と題し特別講演をして頂きました。

ダンカン・プレトリア大学副学長、ウィルコックス南ア財務省経済分析局長、米倉誠一郎一橋大学名誉教授、廣木駐南アフリカ大使が登壇し、プレトリア大学や有識者など約140名の聴衆との間で活発な質疑応答が行われました。講演の概要は次のとおりです。



(1) 竹中名誉教授からは戦後日本経済の歩み、郵政民営化をはじめとする小泉政権による構造改革、安倍政権によるアベノミクス（3本の矢）について説明し、法人実効税率の引下げ、大胆な金融政策等が奏功し、3%以下の失業率、史上最高の企業経常利益など大きな成果を生んでいる旨述べた。

(2) また、竹中名誉教授から、急速な少子高齢化や労働人口減少が見込まれる中、岩盤規制改革、コーポレートガバナンス強化などに言及しつつ、日本は第四次産業革命の先端技術（IoT/ビッグデータ/人工知能/ロボット）を活用し Society5.0 の実現を目指し生産性革命に挑戦する旨説明。さらに、アフリカ大陸は若く急増する人口を抱え成長のフロンティアでありアフリカとの知的交流の必要性を強調した。米倉名誉教授は日本の多様な民族が共存する南アから大いに学ぶことのできる互惠関係である旨指摘した。

(3) 登壇者や聴衆からは、日本の好調な雇用状況の秘訣、教育改革、東日本大震災後の産業政策、急速な少子高齢化に伴う更なる改革、日本の内政、金融政策の有効性と限界、ビットコイン、トランプ政権と日米関係などについて活発な質問が行われた。



2. 日南アビジネス昼食会でのプレゼンテーション（10月5日）

ヨハネスブルグ市内で行われたモハレ南ア経済連盟（BLSA）最高経営責任者(CEO)をはじめ南ア主要企業役員と在南ア日本企業代表との昼食会（司会：廣木大使、双方から26名出席）に竹中名誉教授及び米倉名誉教授をお招きし、竹中名誉教授にプレゼンテーションを行って頂きました。昼食会の概要次のとおりです。



(1) 竹中名誉教授は日本経済の展望と世界経済についてプレゼンテーションを行った。

(2) モハレ CEO は南ア経済として竹中名誉教授から説明のあった日本の改革努力から学ぶとともに、日本経済界と一層関係強化する機会としたい旨挨拶。

(3) 日本企業代表は南アを含むアフリカにおける各々の取組を説明し、TICAD プロセスの下で官民連携してアフリカへの投資拡大基調にある旨応じた。

(4) 南ア主要企業役員からは、主に南ア経済の課題克服という観点から竹中名誉教授及び米倉名誉教授に対し活発な質問が行われた。（了）